









1各クラスの工夫を凝らした垂れ幕 2美しい歌声を響かせる合唱 3クラス展示で交流を楽しむ様子 4息の合った動きを披露する郷土芸能部 5模擬店で販売する商品の宣伝活動を行う生徒たち

第57回 葛高祭

テーマ
楽しんで楽しんで
楽しんで楽しんで
楽しみ抜きます

第57回葛高祭が10月2日と3日の2日間開催されました。

会場では、生徒たちが趣向を凝らしたクラス展示や模擬店、ステージ発表などを企画。3日の一般公開では、家族や卒業生、地域住民など多くの来場者が訪れ、にぎやかな雰囲気を楽しんでいました。

生徒たちが準備から運営まで力を合わせて作り上げた葛高祭。会場は笑顔と活気に包まれ、楽しみ抜いた2日間となりました。

葛巻小学校3年生と授業交流
地域資源の魅力を発信

商業科目を学ぶ3年生が葛巻小学校3年生を対象に、授業交流「岩手県33市町村を探検しよう!」を行い、県内各市町村の魅力を伝えました。

授業では、生徒が学習した県内各市町村の観光資源や特産品、産業などを、クイズと「岩手県33市町村巨大パズル」を通して紹介。児童たちはクイズの答えを考えたり、仲間と相談しながらパズルのピースを枠にはめたりと、楽しみながら県内各市町村の場所や特色について学びました。

授業交流を通じて林愛琉(あいる)さんは「自分たちが学んだ内容を伝えることで、児童たちが楽しそうに学んでいる姿を見られてうれしかった」と話し、教える側にとっても学びを深める貴重な機会となりました。



▲児童と一緒にパズルに挑戦



▲相談しながら完成を目指す児童たち



▲クイズを用いて魅力を発信

一箱古本市Book-afeを開催
古本市を通じて地域交流を図る



◀気になる本を手に取る来場者と交流を図る生徒たち

生徒が総合的な探究の時間で企画したイベント「一箱古本市Book-afe」が9月27日、旧遠藤邸で開催されました。

古本の販売を通じて地域の人々の交流を増やすことを目的に開催され、会場には町民から寄付された多くの本が並びました。来場者からは「町内に本屋がなく、本を買う機会が少ないのでうれしい」と喜ぶ声が聞かれました。本を選びながら町民同士が交流する姿も見られ、にぎやかな催しとなりました。この日得た収益は町内保育園へ絵本を寄付するために活用されます。

働くことをもっと身近に
町内企業ガイダンスを開催



◀職業の選択肢を広げようと説明に耳を傾ける生徒たち

葛巻高校町内企業ガイダンスが10月7日、グリーンテージで開催され、1年生47人と町内18事業者が参加しました。

主催者代表の觸澤義美副町長は「葛巻で働くことのやりがいや魅力が伝わる機会にしてほしい」とあいさつ。生徒は、各事業者による企業説明や生徒が各事業所ブースで直接質問する時間を活用し、職業選択の視野を広げるため、熱心に質問しました。小川紗奈(さな)さんは「町を支える地域産業について学べた。この機会を進路活動に生かしたい」と知識を蓄えた様子でした。

高校生記者レポート



今月号の担当は…
佐々木 空(そら)さん(2年)

葛高祭を楽しむことができました！来場者の皆さんは楽しんでいただけましたか？

楽しみ尽くした葛高祭

葛高祭が10月2日と3日に開催されました。9月の準備期間から校内が活気に溢れ、1年生は初めての葛高祭の成功を、2年生は昨年よりも多くの人を楽しませる、3年生は最後の葛高祭で思い出を作るなど、各学年でさまざまな思いを胸に、本番を迎えていました。

もちろん、上手くいくことばかりではなく、失敗もあります。しかし、協力しながら楽しみたい、来場者に楽しんでもらいたいという目標に向かって取り組むことで、クラスの団結力を深められました。

葛高祭を通じて、1つの行事を全力で作り上げる楽しさや大変さを学びました。この経験は今後の学校生活に生かされると思います。



▲葛高祭の成功に向けて一致団結